



スポーツ山形



(公助) 山形県体育協会

国体競泳成年男子100m
平泳ぎ優勝
小関也朱篤



第72回国民体育大会

君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

2017 ^え愛^{がお}顔 つなぐ ^えひめ国体

国体ボート少年女子
シングルスカル優勝
鈴木伶奈 (酒田光陵高)





総合開会式で入場行進する本県選手団



男女総合優勝を果たしたカヌーの本県選手団

第72回国民体育大会

「愛顔つなぐえひめ国体」を終了して

山形県選手団総監督

(公財)山形県体育協会 事務局長 小川 潔



第72回国民体育大会本大会「えひめ国体」本大会は愛知県下で9月29日から開催し、10月10日の総合開会式をもって終了しました。冬季国体を終了した時点では、昨年の冬季大会終了時から64点減の天皇杯総合第11位という成績で、本大会での大いなる飛躍を期さなければ、昨年同様の900点、20位台の確保はなかなか困難な状況という分析のもと、まずは東北総合体育大会で多くの競技で本大会の出場権を獲得することが、飛躍の第一歩と捉え挑戦しました。

その結果、残念ながら期待された競技での本大会出場を逃した競技もありましたが、ほぼ本大会でも上位入賞可能な競技が出場権を獲得し、愛媛国体での戦いとなりました。

会期前の水泳競技では、リオオリンピック代表の小関也朱篤選手(ミキハウス)が、成年男子平泳ぎで優勝して本県の士気を大いに高め、前期日程の中では、フェンシング成年女子のサーブル競技の2位をはじめとし、本県のお家芸であるカヌースプリント競技の5種目優勝と2種目2位、アーチェリー競技の成年女子、少年男子3位、少年女子5位という快挙、25年ぶりの出場となったラグビーフットボール競技成年男子の4位入賞など、期待され順調に活躍された競技、予想以上の好成績競技もあり順調な得点獲得となりました。

後期日程の競技では、少年女子円盤投げ優勝の齋藤真希選手(鶴岡工業高校)をはじめとした陸上競技チーム、3位入賞を果たしたソフトテニス競技の少年男子(羽黒高校)の粘り強さ、ボート競技少年女子シングルスカルで優勝した鈴木伶奈選手(酒田光陵高校)などの活躍、また成年男子グレコローマンスタイルで3位となった高島優太選手(山形市体育協会)、少年男子秋場勇星選手(山形商業高校)をはじめとしたレスリング選手の活躍、ボクシング競技成年男子岡澤セオン選手(中央大学)の2位と昨年の入賞者48から飛躍する54の入賞種目を出すことができました。

最終結果としては、総合成績873.5点、天皇杯順位31位となり、目標の900点以上、20位台の確保には一步届かず、残念な結果となりましたが、昨年よりも多くの競技種目で入賞し、次年度に繋がる収穫の多い国体となりました。

しかしながら、今後の課題として入賞まであと一步のベスト16で敗退したりした競技を含め、本番で実力を発揮できる選手・チームにどう育成するか、得点配分が多い団体競技の強化をどのように育成するかが課題と言えます。高校生主体となる少年男女では、8年目を迎えたドリームキッズの出身の選手育成も芽が出てきましたので、今後の選手の輩出も期待されます。これまで同様、郷土の山形で活躍したいという願いをもっている大学生や社会人選手の確保策も今後推進しなければならないことも課題となっています。これからのことを徐々に改善することが「スポーツ振興山形」に繋がるものと思います。

1 位

◇陸上

少年女子共通円盤投げ

齋藤 真希(鶴岡工業高校)

◇水泳(競泳)

成年男子100m平泳ぎ

小関也朱篤(ミキハウス)

◇ボート

少年女子シングルスカル

鈴木 伶奈(酒田光陵高校)

◇カヌー

少年女子JWK-2(500m)

佐藤友香・増川知保(谷地高校・寒河江高校)

少年男子JC-2(500m)

荒木岳樹・伊藤真大(谷地高校)

少年女子JWK-2(200m)

佐藤友香・増川知保(谷地高校・寒河江高校)

少年男子JC-2(200m)

荒木岳樹・伊藤真大(谷地高校)

少年男子JK-4(200m)

鈴木・戸田・佐藤・設楽(谷地高校)

2 位

◇陸上

少年女子A400mハードル

大城 楓奈(山形北高校)

少年女子B100mハードル

阪 希望(山形中央高校)

◇ボクシング

成年男子ライトウェルター級

岡澤セオン(中央大学)

フェンシング成年女子サーブル

舟山・竹田・荒井

(山形銀行・東京ガーデンFC・羽山総合建設)

◇カヌー

少年男子JK-1(500m)

小野 隼人(谷地高校)

少年女子JWK-1(200m)

中村 天音(谷地高校)

3 位

◇陸上

少年女子A100m

青野 朱李(山形中央高校)

◇レスリング

成年男子グレコローマンスタイル85kg級

高島 優太(山形市体育協会)

少年男子グレコローマンスタイル96kg級

秋場 勇星(山形商業高校)

◇ソフトテニス

少年男子団体

山形選抜(羽黒高校)

◇カヌー

少年女子JWK-1(500m)

中村 天音(谷地高校)

少年男子JK-4(500m)

鈴木・戸田・佐藤・設楽(谷地高校)

◇アーチェリー

成年女子団体

中村・船見・富樫

(ハードオフコーポレーション・早稲田大学・近畿大学)

少年男子団体

石川・照井・佐藤

(鶴岡南高校・鶴岡工業高校・鶴岡工業高校)

4 位

◇陸上

成年女子100m

佐藤日奈子(大東文化大学)

◇ウエイトリフティング

成年男子77kg級・スナッチ

三田村和真(羽黒高校教員)

◇ラグビーフットボール

成年男子団体

山形選抜

◇カヌー

成年女子WC-1(500m)

佐藤 恵(山形県体育協会)

成年女子WC-1(200m)

佐藤 恵(山形県体育協会)



陸上少年女子A400m障害
大城楓奈(山形北高)



フェンシング成年女子サーブル県選抜

つなぐえひめ国体

君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え

5 位

◇陸上

少年男子共通800m
飛込少年男子飛板飛込

佐藤 駿太 (九里学園高校)
松本 慧 (米沢東高校)

◇ボクシング

少年男子ピン級
少年男子ウェルター級
成年男子ライト級

箭柏 鳳成 (日大山形高校)
菅 慎吾 (新庄神室産業高校)
内構 良斗 (拓殖大学)

◇バスケットボール

成年女子団体

山形選抜 (山形銀行)

◇レスリング

成年男子フリースタイル61kg級
少年男子フリースタイル84kg級
少年男子グレコローマンスタイル74kg級

細谷廉太郎 (専修大学)
今野 港斗 (山形商業高校)
池田貴太郎 (山形商業高校)

◇ウエイトリフティング

成年男子77kg級・クリーン&ジャーク
少年男子53kg級・クリーン&ジャーク

三田村和真 (羽黒高校教員)
長谷部達也 (酒田光陵高校)

◇馬術

成年女子トッブスコア

丹野 里香 (ゼンライディングクラブ)

◇ライフル射撃

少年女子BP40JW

佐藤 琳 (東京都北区稲付中学校)

◇カヌー

少年男子JK-1 (200m)

小野 隼人 (谷地高校)

◇アーチェリー

少年女子団体

佐藤・仲澤・鎌田
(鶴岡中央高校・鶴岡南高校・鶴岡南高校)

6 位

◇ライフル射撃

成年女子10mS40W

高橋 佳伶 (明治大学)

7 位

◇水泳(競泳)

成年女子100m背泳ぎ

西脇 怜奈 (筑波大学)

◇セーリング

少年男子レーザーラジアル級

猪狩 祐樹 (加茂水産高校)

◇馬術

成年女子二段階障害飛越

丹野 里香
(ゼンライディングクラブ)

8 位

◇陸上

少年男子A400mハードル
少年女子A400m
少年男子共通5000m競歩

永井 桂大 (米沢中央高校)
青野 朱李 (山形中央高校)
後藤 彪吾 (鶴岡東高校)

◇ウエイトリフティング

少年男子53kg級・スナッチ
少年男子56kg級・クリーン&ジャーク

長谷部達也 (酒田光陵高校)
石川慎太郎 (鶴岡工業高校)

◇馬術

少年標準障害飛越競技

金野 裕平 (鶴岡第四中学校)

◇フェンシング

成年女子団体フルーレ

舟山・竹田・荒井
(山形銀行・東京ガーデンFC・羽山総合建設)
岩倉・戸田・八巻
(山形クラブ・大正大学・青葉堂印刷)

成年男子エペ



ラグビー成年男子
横山健一 (リコー・山形中央高出)

天皇杯・皇后杯総合得点一覧表

■入賞者 団体11 個人43 合計54

順位	都道府県名	男女総合 (天皇杯)	順位	都道府県名	女子総合 (皇后杯)
1	東 京	2535	1	東 京	1282
2	愛 媛	2395.5	2	愛 媛	1196
3	埼 玉	1787.5	3	大 阪	985
4	大 阪	1784	4	愛 知	925
5	神 奈 川	1674.5	5	埼 玉	915.5
6	愛 知	1643.5	6	千 葉	842.5
7	福 井	1588.5	7	神 奈 川	835
8	千 葉	1531.5	8	福 井	825
9	福 岡	1415.5	9	兵 庫	823.5
10	北 海 道	1287.5	10	福 岡	767.5
11	京 都	1278.5	11	京 都	745.5
12	兵 庫	1237.5	12	岩 手	675.5
13	岐 阜	1151	13	岐 阜	664.5
14	岩 手	1125	14	岡 山	628.5
15	広 島	1123.5	15	北 海 道	628
16	岡 山	1073.5	16	広 島	615.5
17	静 岡	1071.5	17	群 馬	612.5
18	長 野	1057.5	18	静 岡	608
19	奈 良	990.5	19	長 野	606
20	秋 田	989	20	秋 田	582
21	栃 木	964	21	茨 城	558
22	群 馬	950	22	長 崎	553.5
23	茨 城	948	23	鹿 児 島	543
24	長 崎	940	23	熊 本	542
25	大 分	936.5	25	山 形	541.5
26	和 歌 山	934.5	26	新 潟	519
27	三 重	909	26	山 口	519
28	石 川	906.5	28	和 歌 山	509
29	熊 本	903	29	奈 良	506.5
30	香 川	888	30	石 川	500.5
31	山 形	873.5	30	鳥 取	500.5
32	新 潟	871	32	富 山	500
33	鹿 児 島	864.5	33	三 重	495
34	宮 城	842	34	山 梨	488.5
35	青 森	827.5	35	島 根	488
36	富 山	821	36	香 川	464.5
37	山 梨	812.5	37	宮 城	462.5
38	島 根	806	38	佐 賀	462
39	滋 賀	802.5	39	栃 木	461
40	山 口	797.5	40	福 島	455
41	福 島	768	41	大 分	449
42	鳥 取	751.5	42	滋 賀	442
43	佐 賀	730.5	43	沖 縄	441.5
44	宮 崎	702	44	徳 島	416.5
45	沖 縄	670	45	宮 崎	403
46	徳 島	613.5	46	青 森	395.5
47	高 知	552.5	47	高 知	382.5



陸上少年女子B100m障害
阪 希望 (山形中央高)



カヌースプリント200m少年男子カヤックフォア
谷地高 (左から設楽勝太・佐藤旭・戸田風優人・鈴木海渡)



ボクシング成年男子ライトウェルター級
岡澤セオン (中大・日大山形高出)



はばたけ世界へ 南東北総体 2017

2017
7/28(金)・8/20(日)



「はばたけ世界へ 南東北総体2017」を終えて

山形県高等学校体育連盟 理事長 佐藤 裕恒

平成29年度全国高等学校総合体育大会「はばたけ世界へ 南東北総体2017」は、「繋がる絆 魅せよう僕らの若き力」のスローガンの下、7月22日のソフトテニス競技を皮切りに、南東北三県と和歌山県において30競技が開催され、8月20日までの期間、各会場で熱戦を繰り広げ多くの成果を上げて無事終了することができました。

山形県が幹事県となるインターハイは45年ぶりの開催で、県内では7月28日の総合開会式から始まり8月12日まで陸上競技、体操、バレーボール男子、バドミントン、ソフトボール、レスリング、登山、ホッケー、カヌーの、9競技10種目の競技を実施しました。この間、競技に参加した選手・監督数は12,739名、延べ約17万人の観戦・応援来場者があり、各競技会場は大いに盛り上がり、最高の舞台で全力を尽くし競技する高校生の姿は、多くの人々に勇気と笑顔と感動を与えてくれました。

大会成績は、総合開会式前に行われたソフトテニス男子団体における羽黒高校の初優勝から始まり、地元開催の特徴を存分に生かした陸上競技の優勝2を含む14の入賞。同じく地元の利で2艇出場のカヌー競技谷地高校は30の入賞と、「勝って当たり前」のような雰囲気会場を包み込むほどの圧倒的な力を見せてくれました。その結果、入賞目標を【団体5～7・個人35～40】(内、上位入賞20～25・個人優勝5～7)と平成24年に制定した強化6カ年推進計画で揚げましたが、これを大きく上回る優勝13を含む入賞60という素晴らしい結果を残すことができました。この入賞数は過去2番目(1番は47インターハイの入賞81)となり、関係各所からたくさんの喜びとお誉めの声をかけて戴くことができました。

大会成績は、総合開会式前に行われたソフトテニス男子団体における羽黒高校の初優勝から始まり、地元開催の特徴を存分に生かした陸上競技の優勝2を含む14の入賞。同じく地元の利で2艇出場のカヌー競技谷地高校は30の入賞と、「勝って当たり前」のような雰囲気会場を包み込むほどの圧倒的な力を見せてくれました。その結果、入賞目標を【団体5～7・個人35～40】(内、上位入賞20～25・個人優勝5～7)と平成24年に制定した強化6カ年推進計画で揚げましたが、これを大きく上回る優勝13を含む入賞60という素晴らしい結果を残すことができました。この入賞数は過去2番目(1番は47インターハイの入賞81)となり、関係各所からたくさんの喜びとお誉めの声をかけて戴くことができました。

さらに今大会は、高校生活動推進委員と競技運営に携わった高校生の活躍のおかげで、大成功に収めることができましたと確信しています。中でも、平成27年度から取り組んできた高校生活動は、大会広報を始め、大会を終えるまでの期間、実に様々な活動を展開してきました。とりわけ1万人を超す来場者となった「プレイベント」は、県内高校・地域が一体となった多くの企画に高い評価を得ることかできました。加えて、この活動の原点が45年前の「47インターハイにある」ことを知ると、「2順目の自分達が新しい歴史を作る」という意気込みからは、選手に負けない熱意を感じました。一方の競技運営では、「自分達が大会を支えている」という強い自覚が主体的な行動へと繋がり、頼もしさを感じるくらいでした。このように、県内高校生一人ひとりがインターハイに携わり、手作りで心を込めた「山形らしい心温まるおもてなし」で、来県いただいた皆様をお迎えできたものと思っております。

最後になりますが、大会に関わっていただきました全ての皆様に深く感謝申し上げ報告といたします。



繋がる絆 魅せよう僕らの若さ



47分の1の運命

山形中央高校陸上部 青 野 朱 李

昨年の岡山インターハイに実力が出し切れず出場できなかった私は、スタンドから競技を見ながら、必ず来年この舞台で走りたいと思いました。

万全の準備で迎えた南東北インターハイ。100mは、予選・準決勝とも1位通過で優勝できと思っていたのですが、決勝は予想外の向かい風で3位にとどまりました。ランキングでも1位で自信があっただけに、とても悔しい気持ちでした。でも、ベストの状態で地元総体を迎えられることは47分の1の運命！100mで悔しい思いをした分、得意の200mでは「絶対勝つ」という強い気持ちで臨みました。100m過ぎから一気に加速し、ゴール10mぐらい手前で横を見たとき、優勝を確信して自然と笑顔がこぼれました。それくらい気持ちがリラックスしていたのだと思います。400mRでも、チームベストで6位入賞できました。一人で走るのとはまた違う仲間との一体感がありました。

このような結果を出せたのは、たくさんの方々の支えや応援のおかげです。ありがとうございました。これからも頑張ります。



6年越しの実り

一般財団法人山形陸上競技協会強化委員長 佐 藤 孝 夫（山形中央高校監督）

「この子どもたちにこれからどんなことができるだろうか？」6年前、地元総体が話題になった頃から、その主役となる当時の小学6～4年生を前に、企画がスタートした。その後中高の関係者が集い、広い角度からの話し合いのもと、これまでさまざまな諸事業をおこなってきた。

そして迎えた本年。地元総体に71名の選手が参加し、優勝2、入賞10、決勝進出11、団体入賞4と大活躍してくれた。関係機関のご支援とご協力をはじめ、県民のみなさまの熱い応援などすべてが、選手たちの力となつての好成績だったと考えている。

また、総体は本来学校対抗であるが、それ以上に「チーム山形」としての一体感が強く実を結んだ大会となった。「小さい県ながら、みんなで協力して、発掘・育成・強化といった一貫指導ができれば必ず成果を上げられる」という自信をも得ることができた。

今回の結果について、選手の活動のみならず、関係者が取り組んだ足跡すべてをレガシーとして引き継いでいきたい。



写真提供 山形新聞社

平成28年度 山形県体育協会表彰

◆山形県体育協会奨励賞

スキー 石黒 和子（酒田スキークラブ）
第41回全日本マスターズスキー選手権八幡平APPI大会
女子ジャイアントスラローム80～84歳
第1戦・第2戦 優勝



平成29年度 スポーツ功労者（県体協関係）

◆文部科学大臣表彰

（生涯スポーツ功労者）

大宮 彰 一般社団法人山形県バレーボール協会常務理事
阿部栄一郎 公益社団法人日本ライフル射撃協会監事
小林 静子 川西町ホッケースポーツ少年団指導者

（生涯スポーツ優良団体）

NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ（石塚 清代表）
真室川ミニバスケットボールスポーツ少年団（渡部啓介代表）

◆日本体育協会表彰

（公認スポーツ指導者）

佐藤 孝夫 陸上競技コーチ
木村 潤一 水泳上級コーチ
菅原 和敏 バレーボール上級コーチ
川村真理子 ソフトボール上級指導員

（公認スポーツドクター）

高橋 則好 宮崎外科胃腸科クリニック

◆東北総合体育大会功労者表彰

沼澤 宏 山形県バスケットボール協会専務理事

◆山形県教育功労者表彰

齋藤 隆 山形県ウエトリフティング協会会長
山本 益生 山形県サッカー協会会長

◆山形県体育協会功労賞（平成28年度）

小山 寛	副会長
小川 潔	理 事
木村 文浩	理 事
菅原 和敏	前理事
三浦 繁則	理 事

◆山形県体育協会感謝状（平成28年度）

早坂 孝	前副会長
宇野 直之	前理事
大場 正仁	前理事
村田 久忠	前理事
山本 益生	前理事
渡会 昇	前理事

◆日本スポーツ少年団顕彰

（市町村スポーツ少年団表彰）

高島町スポーツ少年団

（指導者表彰）

千葉 徹（東根市）
佐藤 利浩（鶴岡市）

土田 桂子（舟形町）
佐藤 俊次（酒田市）

（感謝状）

金 利寛（新庄市）

坂田喜一郎（川西町）

新体操・国井麻緒選手 世界選手権で「銅メダル」

8月29日～9月3日、イタリア・ペーザロで開催された「第35回世界新体操選手権大会」に、日本代表『フェアリー・ジャパンPOLA』のメンバーとして出場した国井麻緒選手（東京女子体育大学3年／山形RG・日大山形高出）が、9月8日に県スポーツ会館を訪れ、大会の報告をしてくれました。

今回の世界新体操で、日本は団体総合で42年ぶりの表彰台となる銅メダルを獲得しました。歴史に名を刻んだ6人の中に、フープのメンバーとして出場した国井選手の笑顔がありました。

国井選手は、昨年のリオ五輪では惜しくも補欠メンバーとして帯同し、出場はできませんでした。一線を退くことも考えたという国井選手は、次のような話を語ってくれました。「昨年一度も試合に出られませんでした。今年は、昨年の悔しさをバネに、3つのメダルを取ることができました。応援してくださる皆さんの声援が支えになりました。踊るという楽しさが以前よりも増して感じられるようになり、今は先のことはあまり考えずに、一日一日を大切に毎日の努力を重ねていきたいと思っています。」

リオ五輪の悔しさを新たな原動力に変え、自信をもって楽しんで踊れたという国井選手。2020年東京五輪では、より輝いた笑顔が見られることを期待しています。



人物紹介

「風は海を超えて」

山形県セーリング連盟 副会長 齋藤 和久

セーリング（ヨット）はセールに風を受け、自然を舞台とする競技ですが、小学生から高齢者まで年齢・性別に関係なく競い、自然を楽しむことができる生涯スポーツでもあります。本県では、鼠ヶ関マリーナ・加茂や酒田港・最上川河口・尾花沢市徳良湖などを拠点にして、各地の水面でヨット活動が行われています。

私は、30歳から30年以上にわたり、多くの仲間に支えられながら、強化部長、理事長として本県ヨット競技に関わってきました。今も現役の競技者として、また審判として国内外の大会に参加していますが、61歳の時に国際F J級ヨット世界選手権大会に米国選手とのペアで出場、今



年はスロベニアで開催された世界大会に、国際審判団の一員として参加してきました。

国際F J級ヨット協会会長として、国内では日本セーリング連盟ルール委員として、これまでに世界の仲間と共にヨットのために働く機会を与えられました。今も続く彼らとの交流は、ヨットが私に与えてくれた「宝物」です。こうした経験から得た、ヨット競技における「自由」「自己責任」「国際性」の意味を、県連盟の普及事業である「ジュニアヨットスクール」の参加選手に、私なりのやり方で語り伝えていきたいと考えています。

スポーツ指導者ノート

「柔道への恩返し」

新庄市 神室スポーツ少年団 団長 伊藤 好之

神室柔道スポーツ少年団を立ち上げて16年になります。

私の柔道の歴史といえば、父が柔道の有段者で兄と一緒に幼い頃から柔道に接していましたが本格的に始めたのは中学になってからです。中学時代はとにかく柔道が好きで夢中でした。更に高校に進学するなら柔道名門校と思い、当時強豪の日本大学山形高校に進学したのですが、インターハイ、国体への出場を義務づけられた練習でそれは厳しい所でした。指導者や先輩方に恵まれインターハイと国体両方に出場出来るまで成長させてもらいました。感謝の至りです。

大学は歯学部。長野県の大学で勉強の合間の部活動、高校時代からみればとても楽な練習でした。当時、地区代表で県大会に行くと、山形の高校時代にお世話になった先生のお知り合いが沢山居られて、皆様に可愛がられました。大学柔道の全国規模の横のつながりに感動したものです。

昭和63年に生まれ故郷の新庄にて歯科医院を開業。柔道連盟にも加入し、私の子供達が柔道を始めた事をきっかけとして柔道スポーツ少年団を立ち上げました。というのも、柔道を一生懸命することによって、柔道という武道精神や技術が子供達の成長に関わり、社会人として外連味の無い正直な人となり、国際社会においては外国人と接し、物怖じせず堂々と胸をはって言葉を発して行けるような子供達に成長していくに違いないという自信からでした。沢山の国際人が排出される事が私の夢であります。強い弱いはその人の個性、個性を否定すること無く何事にも「やる気」のある子どもに成長してもらうよう保護者も含めて今後も指導して行きたいと思います。

私達の団で二つ大事な心構えがあります。

- 1、成長に合わせた科学的な指導（健康被害が出るような指導は絶対しない）
- 2、勉強最優先（学力低下をきたすような指導はしない）

この二つを大事にして、団員一同すすんで行きたいと思っています。

〒999-5103 新庄市泉田村東2
☎0233-25-3225

市町村 体育協会 だより

『町民一人一人スポーツ推進と 地域との交流及び健康づくり』

飯豊町体育協会会長 二 瓶 貞 男

町社会体育振興計画と共に「スポーツを通じた交流や健康づくり、そして町民一人一人スポーツの推進を図る」をスローガンに本協会は、来年度60周年を迎えます。これまで多くの方々の協力を得て大会の運営をされてきました。現在は、12の競技団体と9地区の体育協会、それにスポーツ推進委員との連携を図りながら、11種目の大会を開催しています。この内、6種目の得点制をとり地区対抗戦として総合順位を決定しています。特に、ソフトボールとバレーボールには若い人、ゲートボール競技には年配の方が多く参加され大会が大いに盛り上がります。



年度末には、本協会表彰規定によるスポーツの普及振興向上に功労や尽力され競技成績が優秀である個人・団体を表彰しています。昨年度は、特に小・中学生がスキー競技の東北・全国大会での優勝や出場された皆さんが多く表彰されました。今年も活躍を期待しております。

今年の大きなイベントとして、一市三町による西置賜地区スポーツ懇談会を当協会が担当し12月2日(土)に開催されます。講師に奇跡のシンクロナイズドスイマーと言われております石黒由美子氏を予定しております。

このような懇談会や様々な大会を通して町民一人一人がスポーツを楽しみながら健康に、そして地域との融和をもって町の発展を願っております。

クラブ 通信

地域に根差したクラブへ

徳内ふれあいスポーツクラブ
クラブマネジャー 須 藤 正 始

村山市の中央部の西郷地域を主体に平成16年度より活動を始め、平成19年2月に誰もが参加できるクラブ作りをめざし設立しました。現在の会員数は約220名で、市内外より参加していただいております。

らくらく健康教室(リズム体操とヨガ)ピラティス・GGサークル・ヒップホップダンス教室・バレーボール教室・陸上教室・英語サークル・アスリート出前教室・ふれあい教室があります。

ヒップホップダンス教室は、地域祭りなど多くのイベントに参加、らくらく健康教室では地域のボランティア活動にも積極的に参加しております。また、陸上、バレーボール教室は競技スポーツとして外部指導者も含め有資格者による指導もあり、県大会等でも優秀な成績を収めています。

10周年事業では、地域の皆様の協力を得て、実行委員会組織ながら一昨年よりスポーツ恋活を実施、市民体育館で村山発祥のエアバレーで汗を流し、パーティーをする、新しいタイプのスポーツクラブならではの婚活事業を実施しました。見事ゴールインしたカップルもあり、今年で3回目になります。

これからも、地域に根差したクラブづくりに、スタッフ一丸となって取り組んでいきたいと思っております。



競技団体 ニュース

少年柔道教室の開催

山形県柔道連盟 会長 二 戸 昭 夫

県柔道連盟は、競技の普及発展を目的に主催した少年柔道教室が、9月3日、天童市県総合運動公園柔道場で初めて開かれ小学生以下の子供と柔道指導者、保護者、約230名が楽しそうに柔道の世界に触れた。世界選手権3位等の戦績を持つ村田正夫・大阪成蹊大教授と東アジア選手権3位等の戦歴がある駒木奈緒美・横浜市中宿中教諭が講師となり礼節や基礎を伝えた。子供達は畳の上を元気に動き回り、手で畳をたたき受身を試した。相手と組み、畳上の丸めた新聞紙を互いに踏まないようバランスを取り合って進むゲーム等子供は大変楽しそうに体験していた。

県柔道連盟柔道着などを用意し、経験を問わず気軽に体験できるように企画した。今後は遠距離の問題もあり、各地区単位庄内地区、最上地区、米沢地区、村山地区で実施してはどうかとの意見もあり今後検討することにした。



スポーツ 技術員 レポート

「一年を振り返って」

山形県体育協会スポーツ技術員 佐 藤 恵

今年度からスポーツ技術員になり、「カヌーをすることが仕事」となった今、この道に進むことが出来て本当によかったと思っています。教員から競技者に転向し早1年が経ちますが、1年前の自分には、想像も付かない環境でカヌーが出来ていることに喜びを感じるとともに、結果を求められる厳しさを痛感しています。

普段は、ナショナルチームと一緒に活動しています。国内合宿はもちろん、海外合宿や国際試合を通して学ぶことは多く、たくさんの経験を積むことが出来ています。ライバルと共に練習する環境は常に「勝負」を意識できる最高の場所です。その環境の中で、いかに自分自身を信じ、頑張り続けることが出来るかで結果は大きく変わってくると思います。「速い」選手ではなく、「強い」選手になるためにも、何事にも貪欲さを忘れず頑張りたいと思います。そして、山形で応援してくださる方々に結果で恩返しができるよう精進して参ります。



平成29年度賛助会員紹介

(加入順：敬称略)

◆ 法人

ネットトヨタ山形 ㈱
山形グランドホテル ㈱
天童木工 ㈱
東北パイオニア ㈱
大風印刷 ㈱
東照電気 ㈱
ヨネックス山形営業所 ㈱
シベール ㈱
山形給食センター ㈱
山形パナソニック ㈱
アートエッグ ㈱
タキザワ ㈱
日新製薬 ㈱
本間利雄設計事務所 ㈱
日本旅行東北 ㈱
(学法)東北芸術工科大学 ㈱
山形新聞社 ㈱
アイシステム・ビズ ㈱
(社福)長井福祉会 ㈱
山形県火災共済協同組合 ㈱
天童カントリークラブ ㈱
山形ゴルフ倶楽部 ㈱
(公財)山形県企業振興公社 ㈱
加藤総業 ㈱
山形不動産サービス ㈱
パスラボ ㈱
東北文教大学 ㈱

遠藤商事 ㈱
ミズノ ㈱
仙台営業所 ㈱
東京海上日動火災保険 ㈱
小澤商店 ㈱
たんの文具 ㈱
かわでん ㈱
ヤマコーリゾート ㈱
東北電化工業 ㈱
山形酸素 ㈱
スズキハイテック ㈱
山形県信用金庫協会 ㈱
山形ゼロックス ㈱
天童給食センター ㈱
(公財)やまがた健康推進機構 ㈱
ヤマコー ㈱
日本の宿 古窯 ㈱
ホテルメトロポリタン山形 ㈱
山形国際ホテル ㈱
アイ・エム・マムロ ㈱
ホテルキャスル ㈱
名鉄観光サービス山形営業所 ㈱
山形県建設工業 ㈱
黒澤建設工業 ㈱
(有)パインズパーキング ㈱
山形空港ビル ㈱
大場印刷 ㈱

(一社)山形県建設業協会 ㈱
メコム ㈱
JTB東北山形支店 ㈱
大塚製薬 ㈱
東武トップツアーズ ㈱
曙印刷 ㈱
山形資源 ㈱
山形管公学生服 ㈱
でん六 ㈱
山形県弓道連盟 ㈱
山形県信用組合協会 ㈱
誠文堂印刷 ㈱
山形県信用保証協会 ㈱
(有)くまがい ㈱
(学法)東北公益文科大学 ㈱
山形ビルサービス ㈱
山形放送 ㈱
大泉建設 ㈱
第一貨物 ㈱
高畠ワイン ㈱
市村工務店 ㈱
湯の浜カントリークラブ ㈱
日東ベスト ㈱
ウエノ ㈱
丸高 ㈱
庄交コーポレーション ㈱

(一社)山形県銀行協会 ㈱
アシックスジャパン ㈱
ゆうき整形外科 ㈱
荒正 ㈱
葉山 ㈱
(有)パソコンサポート山形 ㈱
山形スポーツ用品小売商業協同組合 ㈱
タカミヤホテルグループ ㈱
渋谷建設 ㈱
カスカワスポーツ ㈱
モンテディオ山形 ㈱
山新観光 ㈱
(社福)さくら福祉会 ㈱
平田牧場 ㈱
(社福)恩賜財団山形県済生会 ㈱
ほほえみの宿 滝の湯ホテル ㈱
パレスグランデール ㈱
上杉城史苑 ㈱
ヨシケイ山形 ㈱
庄内ゴルフ倶楽部 ㈱
青山建設 ㈱
蔵王カントリークラブ ㈱
菅原工務所 ㈱
小松写真印刷 ㈱
フィデア総合研究所 ㈱
吉田 ㈱

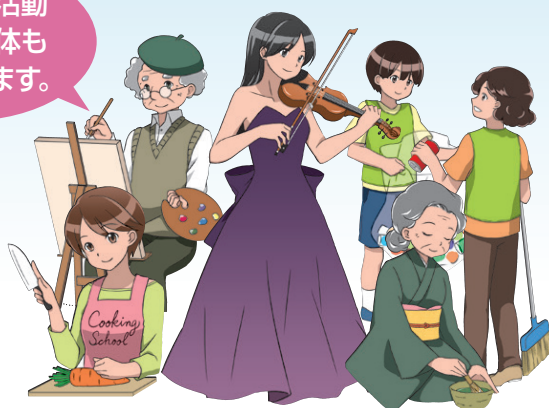
◆ 個人

登坂 光雄 新野 晃敏 中村 弘 会田 忠秋 塩野 孝男 山口 正己 山本 益生
海老名清二 渡会 昇 佐藤 啓 鎌田 博子 (2017.11.20 現在)

スポーツ安全保険®



スポーツ活動
以外の団体も
加入できます。



スポーツ安全協会 検索 インターネットからも加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 山形県支部

〈(公財)山形県体育協会内〉

〒990-2412 山形市松山 2-11-30 TEL023-642-8321 電話受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)



保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

携帯電話から
資料請求ができます。